

第10回周南コンビナート脱炭素推進協議会 議事要旨

開催要領

日 時 令和6年6月19日(水) 14:00～16:00

場 所 周南市役所 多目的室(シビックプラットホーム1階) ※WEB併用

出席者 【構成員】(敬称略)

藤井 律子 周南市長

辻 佳子 公益社団法人化学工学会

地域連携カーボンニュートラル推進委員会 委員長

東京大学環境安全研究センター 教授

三品 鉄路 出光興産株式会社 執行役員 徳山事業所長

吉水 昭広 東ソー株式会社 南陽事業所 取締役 常務執行役員 事業所長

奥野 康 株式会社トクヤマ 常務執行役員 徳山製造所長

内田 俊彦 日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所

執行役員 山口製造所長

宮城 孝一 日本ゼオン株式会社 徳山工場 執行役員工場長

【オブザーバー】(敬称略)

土屋 博史 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長

鈴木 純 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 所長

塚田 源一郎 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課

地球温暖化対策事業室 室長

(代理出席)

地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室 阿部 健太郎

難波 良多 林野庁 林政部 木材利用課 課長

岩本 康彦 山口県産業労働部 理事 産業脱炭素化推進室 室長

稲葉 和也 周南市水素利活用協議会 会長

山口大学大学院技術経営研究科 教授

【補佐人】(敬称略)

松方 正彦 公益社団法人化学工学会

早稲田大学理工学術院先進理工学部 教授

石戸 利典 公益社団法人化学工学会

株式会社 IHI エグゼクティブフェロー

阿尻 雅文 公益社団法人化学工学会

東北大学 材料科学高等研究所 教授

藤井 実	公益社団法人化学工学会 国立研究開発法人 国立環境研究所
水口 能宏	公益社団法人化学工学会 日揮ホールディングス株式会社 執行役員 CTO サステナビリティ協創ユニット
新美 雄太郎	公益社団法人化学工学会 地域連携カーボンニュートラル推進委員会 委員
今井 博文	出光興産株式会社 製造技術部 担当部長
具嶋 文彦	出光興産株式会社 徳山事業所 担当部長
上村 啓治	出光興産株式会社 CNX 戦略室 CNX 企画課 担当マネジャー
深澤 有紀	出光興産株式会社 CNX 戦略室 CNX 企画課
渡辺 宏	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課 担当マネジャー
大塚 雄一郎	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課
松村 善則	東ソー株式会社 南陽事業所 執行役員 副事業所長 兼 CO ₂ 削減・有効利用南陽タスクフォースチームリーダー
土谷 和寛	東ソー株式会社 南陽事業所 CO ₂ 削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム
鈴川 博之	東ソー株式会社 南陽事業所 事業所長室 技術管理 G
松本 和也	東ソー株式会社 南陽事業所 技術センター 生産技術室 GL
志賀 和宏	東ソー株式会社 南陽事業所 技術センター 生産技術室 主席技師
浅野 浩司	東ソー株式会社 CO ₂ 削減・有効利用戦略室 GL
末本 裕貴	東ソー株式会社 CO ₂ 削減・有効利用戦略室
井上 裕司	株式会社トクヤマ 執行役員 カーボンニュートラル戦略本部長
河野 敦之	株式会社トクヤマ 徳山製造所副所長 兼 工場企画運営 グループリーダー
大森 一幸	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 兼 工場企画運営グループ 主幹
小松 康尚	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主幹
中本 達也	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主幹
佃 宣和	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 生産技術室長
棚田 裕一郎	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 総務室長
平川 宏之	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル統括推進部門長
渋谷 智啓	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル統括推進部 理事顧問

本間 彰	日本ゼオン株式会社 徳山工場 副工場長 兼 脱炭素推進準備室長
藤村 佳樹	日本ゼオン株式会社 徳山工場 脱炭素推進準備室
菅原 充	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル研究開発推進室
入野 真一	日本ゼオン株式会社 原料部

【陪席・随行】（敬称略）

井出 大士	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
佐野 徹	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
村松 雄太	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
菊池 春歌	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長
有間 光	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長
閑田 英敬	経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官
原田 昌子	経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 課長補佐
荒木 達也	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 課長
藤村 悠司	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 港湾保安調査官
常数 浩二	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長
山口 慎介	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐
今井 遥圭	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 係員
西山 弘樹	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 企画調整係長
齋藤 綾	林野庁 林政部 木材利用課 監査官
勢登 俊明	山口県産業労働部 産業脱炭素化推進室 主査

【事務局及び関係課】

道源 敏治	周南市副市長
荒美 雅丈	周南市産業振興部 部長
吉村 渉	周南市産業振興部 次長 兼 商工振興課 課長
周山 健太郎	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長
井尻 帆乃香	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
松尾 陽加	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
松元 悠生花	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
川口 洋司	周南市企画部 部長
今井 努	周南市企画部 企画課 企画担当
齊藤 康紀	周南市環境生活部 部長
田内 正彦	周南市環境生活部 環境政策課 課長

議事次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 副会長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 令和5年度事業及び決算報告について
 - (2) 令和6年度事業計画案及び予算案について
 - (3) 規約改正について
 - (4) 監事の選出について
 - (5) 報告事項
 - ①ワーキンググループの議論について
 - ②各チームの進捗について
 - (6) その他
- 5 閉会

1. 開会

(事務局)

それでは、ただいまから、第10回周南コンビナート脱炭素推進協議会を開催します。私は、本日進行を務める、周南市産業振興部次長の吉村と申します。よろしくお願いします。

本日は、次第のとおり進行し、16時終了予定です。本来であれば、御出席の皆様を御紹介するところですが、時間の関係上、配布した出席者名簿と配席図をもって、御紹介に代

えさせていただきます。

なお、本日の会議につきましては、御案内のとおり、次第４．議事（４）までの部分公開とさせていただきます。

それでは、開会にあたり、会長及び副会長から挨拶をいただきます。最初に、会長の藤井市長、よろしくお願いいたします。

２．市長あいさつ

（会長）

周南市長の藤井律子です。本日は大変御多用のところ、第 10 回周南コンビナート脱炭素推進協議会に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本協議会におきましては、昨年 5 月に皆様の御協力の下、2050 年のあるべき姿、理想像となる「周南カーボンニュートラルコンビナート構想」とその道筋を示す「周南コンビナートカーボンニュートラルロードマップ」を策定し、早 1 年が経過しました。

この間、構想の具体化に向けて、項目ごとに編成された各チームにおいて、熱心に議論を進め、課題の精査や新たな技術の導入等、様々な検討を重ねております。

直近では、本年 3 月、CO₂利活用の検討に対し、「周南コンビナートにおける産業間連携カーボンリサイクル事業の実装に向けた調査」が NEDO 調査事業に採択されたことに続き、本年 5 月には、資源エネルギー庁の「非化石エネルギー等導入促進対策費補助金」に「周南地区アンモニア広域供給拠点、域内パイプライン整備及び燃焼設備検討事業」が採択されました。産学官が連携し、まさにワンチームで進めるこうした活動により、周南コンビナートの取組がより活発化するとともに、今後ますます勢いづいていくものと私は確信をしております。

また、国におきましては、先日、値差支援や拠点整備等に係る支援制度が盛り込まれた水素社会推進法が施行されました。アンモニア等の活用がより一層図られていくものと認識をしております。こうした国の動きにもしっかりと呼応し、カーボンニュートラルコンビナート実現に向けた取組に積極的にチャレンジをしていく所存でございます。

本日は、各チーム主査からこれまでの検討状況や今後の方向性等についてお示しをさせていただきます。オブザーバーの皆様方には忌憚の無い御意見を賜りたく、お願いを申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

（事務局）

ありがとうございました。続きまして、副会長の公益社団法人化学工学会の辻佳子様、よろしくお願いいたします。

3. 副会長挨拶

(化学工学会 辻)

今月は国会の会期中でもあり、各社株主総会がある激動の月にこの協議会を開催するにあたり御協力いただきありがとうございます。

この協議会も3年目を迎えますが、周南ではエネルギーをモノづくりに使っています。エネルギー白書でも、電気とモノづくりとモビリティで使うエネルギーは1:1:1です。日本を豊かな国として維持するためにも、私たちの前提はモノづくりをすることです。

そんな中で、昨年策定したグランドデザインの実現に向けて、具体的な技術の検討や、土地の使い方などを議論しており、これを具現化していくことがこれから大事になってきます。これからも議論を加速し、議論のみならず実際の動きにつながるために今年の1年が大事な年になりますので引き続きよろしくお願いします。

(事務局)

ありがとうございました。

ここからの進行でございますが、協議会規約第6条第2項「総会の議長は会長をもってこれに充てる」によりまして、進行を会長である藤井市長にお願いいたします。

4. 議事

(1) 令和5年度事業及び決算報告について

(会長)

議事(1) 令和5年度事業及び決算報告について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

事務局の周山です。

それでは令和5年度事業報告・決算報告について御説明いたします。「資料」の1ページを御覧ください。

はじめに、令和5年度事業報告についてです。まず、総会につきましては、令和5年度は、書面を含め計5回開催しており、5月31日の第6回には、「周南カーボンニュートラルコンビナート構想」及び「ロードマップ」を公表いたしました。

また、2ページ目になりますが、3月27日の第9回には、独禁法に係るプレスリリースの報告のほか、令和6年度「非化石エネルギー等導入促進対策費補助金」の応募について審議を行い、構成員の皆様の同意をいただき可決されました。

続いて、ワーキンググループについてです。こちらも計5回行い、各チームの進捗報告と今後の進め方について議論を重ねてまいりました。

続いて、3ページ、啓発活動についてです。本協議会副会長の辻佳子先生を講師に、「み

みんなで考えるカーボンニュートラル社会」と題した講演会を、今年の 1 月に徳山工業高等専門学校、そして 2 月に徳山商工高等学校で開催しました。

また、本年 3 月 16 日には、シンポジウム「周南から発信する未来のカーボンニュートラル社会」を開催しました。多くの方々に御参加いただき、「みんなで学び、考え、行動する」大切さを発信することができました。

続いて、4 ページをご覧ください。令和 5 年度決算報告についてです。

収入といたしまして、周南市からの交付金と諸収入の利息を合わせまして、704 万 5,402 円でございます。支出の主なものとしましては、協議会・ワーキング、講演、シンポジウムに要した旅費 143 万 5,840 円、同じく報償費 41 万 6,984 円、調査費、協議会ホームページ作成業務、シンポジウムのオンライン配信業務に要した委託料 260 万 9,016 円でございます。また、収入から経費を差し引いた 240 万 5,580 円は、周南市へ返還金として、支出しております。

説明は以上でございます。

(会長)

ここで、監事を代表しまして、出光興産株式会社執行役員徳山事業所長の三品様より、監査報告をお願いします。

(出光興産 三品)

ただ今、御紹介をいただきました、出光興産株式会社の三品でございます。監事を代表しまして、監査報告をいたします。

令和 5 年度の周南コンビナート脱炭素推進協議会の決算におきまして、厳正に監査をした結果、その内容及び帳簿等関係書類において適正に処理されていることを認め、これを報告いたします。

(会長)

三品様ありがとうございました。それでは、事務局からの説明及び監査報告について、意見・質問等がございましたら、御発言をお願いします。

—意見・質問なし—

それでは、特に御質問等ないようですので、令和 5 年度事業報告及び決算報告について、承認ということでよろしいでしょうか。

—異議なし—

御異議ございませんので、事業報告及び決算報告につきましては、原案のとおり承認されました。

（２）令和６年度事業計画案及び予算案について

（会長）

続きまして、（２）令和６年度事業計画案及び予算案について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

それでは、令和６年度事業計画案及び予算案について、御説明いたします。
資料の６ページをご覧ください。はじめに、令和６年度事業計画案でございます。

１．総会につきましては、年３回の開催を予定しています。構想及びロードマップに基づく各種取組等について、皆様と検討を進め、着実な事業推進を図りたいと考えております。また、国の動向に沿って迅速な審議が必要と判断した際には、書面決議で審議を行うなど柔軟に対応してまいります。

次に、２．ワーキンググループです。構想・ロードマップに基づく取組等に関し、より深化した協議・検討を行うため、既に開催が決まっている７月９日以降も状況に応じ、随時開催してまいります。

続いて、３．普及啓発です。カーボンニュートラルを推進する上で、本協議会の取組を、地域内外に情報発信するとともに、あらゆる世代の方に御理解・御協力をいただくことが重要となります。そのため、今年度も引き続き、３月１５日土曜日にシンポジウムを開催するとともに、勉強会・講演会を市内の団体、学生などを対象に随時開催したいと考えています。また、昨年度に開設した協議会ホームページを情報発信のツールとして活用してまいります。

続きまして、７ページをご覧ください。令和６年度の予算案についてです。

まず、収入の部では、市の交付金「周南コンビナート脱炭素推進事業交付金」として、６２４万５千円を計上しております。支出の部では、旅費・謝金などの協議会運営経費として２１３万４千円、周南コンビナートの脱炭素化に向けた調査費として１５０万円、広報・啓発事業費として１１０万２千円などを計上しております。

説明は以上でございます。

(会長)

それでは、ただいまの事務局からの説明について、意見・質問等がございましたら、御発言をお願いします。

—意見・質問なし—

それでは、特に御質問等ないので、令和 6 年度事業計画及び予算案について、承認ということよろしいでしょうか。

—異議なし—

御異議ございませんので、事業計画及び予算案につきましては、原案のとおり承認されました。

(3) 規約改正について

(会長)

続きまして、(3) 規約改正について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、規約改正について、御説明いたします。「資料」の 8 ページをご覧ください。

当協議会規約につきましては、第 5 条において、役員を選任することにしてありますが、監事において、任期の定めがありませんでした。そのため、第 5 条第 9 項として、監事の任期を 2 年とし、再任は妨げない旨を追記するものです。

説明は以上でございます。

(会長)

それでは、ただいまの事務局からの説明について、意見・質問等がございましたら、御発言をお願いします。

—意見・質問なし—

それでは、特に御質問等ないので、規約の改正について、承認ということよろしいでしょうか。

—異議なし—

御異議ございませんので、規約改正につきましては、原案のとおり承認されました。

(4) 監事の選出について

(会長)

続きまして、(4) 監事の選出について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、監事の選出について、御説明いたします。「資料」の 11 ページをご覧ください。本協議会規約の第 5 条第 7 項では、「監事は、構成員の中から総会において選任する」と規定されております。このことについて、事務局案としては、

- ・株式会社トクヤマ 常務執行役員 徳山製造所長の奥野康様、
- ・日鉄ステンレス株式会社 製造本部山口製造所 執行役員 山口製造所長の内田俊彦様

に是非お願いできればと考えております。以上でございます。

(会長)

それでは、ただいまの事務局からの説明について、意見・質問等がございましたら、御発言をお願いします

—意見・質問なし—

それでは、特に御質問等ないようですので、事務局案のとおり、承認ということによりましょうか。

—異議なし—

御異議ございませんので、監事の選任につきましては、原案のとおり承認されました。

株式会社トクヤマの奥野所長様、日鉄ステンレス株式会社の内田所長様、どうぞよろしくお願いいたします。

(会長)

ここで報道関係者の皆様にお願いがございます。事前に御案内させて頂きましたとおり、本協議会の撮影・取材はここまでとさせていただきます。

大変申し訳ありませんが、御退出をお願いします。